

令和6年10月1日

各関係機関の長 殿

金沢大学がん進展制御研究所長

鈴木 健之

金沢大学新学術創成研究機構「真理探究研究コア:免疫ネットワーク研究ユニット」
准教授又は助教(テニユア・トラック教員)候補者の公募について(依頼)

謹啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

金沢大学では、平成27年4月から「新学術創成研究機構」を設置し、新しい学問分野・学問領域の創成につながる学問分野融合型研究を推進しています。

このたび、下記の要項により准教授又は助教(テニユア・トラック教員)の公募を行うことになりました。つきましては、貴機関関係者への周知及び適任者の推薦についてご高配を賜りたくお願い申し上げます。

記

(1) 公募人員： 准教授又は助教(テニユア・トラック教員) 1名

※所属:新学術創成研究機構「真理探究研究コア:免疫ネットワーク研究ユニット」
及びがん進展制御研究所「免疫環境ダイナミクス研究分野」
(ユニットリーダー及び分野主任 岡本一男教授)

※任務:上記研究ユニットにおいて、「若手主任研究者(若手PI)」として研究ユニットの研究推進に中心的な役割を担うとともに、がん進展制御研究所の教員としての職務も担う。

※任期:原則5年間(本学に在職中のものが継続して本教員となる場合の任期は、その在職期間も通算して10年を超えない範囲)

※再任・昇任制度:(9)に記載

※インセンティブ:研究経費として年間50万円程度(5年間)を措置する予定

(2) 給与： 国立大学法人金沢大学における年俸制を適用

(3) 公募研究領域:

当研究分野では、がん微小環境を形成する、がん細胞、免疫細胞、並びに線維芽細胞や血管内皮細胞などの組織構成細胞との多細胞間ネットワークに着目し、腫瘍進展や転移に関わる分子機序を解明することで、がんの予防・克服に繋がる革新的医療技術の創出を目指しています。また、転移性骨腫瘍など骨組織を病変部とするがんの病態誘導機序の解明にも取り組んでいます。分子生物学、細胞生物学、免疫学的技術に精通し、さらに、シングルセル解析、マルチオミクス解析、イメージング解析などの先端技術を駆使して、がんの発生、進行、転移の根本的メカニズムの理解に迫る基礎研究を展開できる人材を求めます。

(4) 着任(採用)時期: 令和7年4月1日以降のできるだけ早い時期

(5) 応募資格

- ・若手 PI(准教授又は助教)として本研究ユニットにおける研究プロジェクトを推進できる優れた研究者
- ・免疫学、腫瘍学、骨代謝学での研究実績がある者が望ましい
- ・博士の学位を有する方

(6) 応募書類: A4に記載のこと(様式は問いません)。

- | | |
|-----------------------------|-----|
| ①履歴書(高校卒業以降)(写真貼付) | 1部 |
| ②業績(著書、原著、総説および特許など)目録 | 1部 |
| ③主要研究論文(総説を含む) 5編以内 | 各1部 |
| ④業績の概要(1, 200字程度) | 1部 |
| ⑤研究に対する抱負(1, 200字程度) | 1部 |
| ⑥外部研究資金獲得状況(過去5年間) | 1部 |
| ⑦本人について評価できる研究者の氏名(2名)及び連絡先 | |

※履歴書にはメールアドレス及び連絡先をご記入ください。

※選考の過程において、講演や面談のためにご来学いただく場合があります(交通費の支給はいたしません)。なお、ご来学が難しい場合、インターネットでの面接を行う場合があります。

※提出いただきました履歴書等の書類は、個人情報に留意して処理いたします。

(7) 応募締切: 令和6年12月10日(火) 17時(必着)

(8) 書類提出先及び問い合わせ先

<書類提出先> (E-mail にて受け付けます)

事務担当: 金沢大学医薬保健系事務部薬学・がん研支援課企画総務係

E-mail: y-somu@adm.kanazawa-u.ac.jp

※すべての提出書類について、PDF ファイルへ変換し、一つの圧縮ファイルにまとめ、上記の事務担当アドレス宛に、【新学術創成研究機構准教授又は助教応募】という件名で E-mail で送付してください。添付ファイルが 10 MB を超える場合は、ファイル送信サービス等を利用して提出してください。

メール受取後、事務担当から受取の連絡をいたします。2 営業日を経過しても受取連絡の返信がない場合は、事務担当まで連絡願います。

<問い合わせ先>

選考委員長 平尾 敦

e-mail: ahirao@staff.kanazawa-u.ac.jp

(9) その他

※再任・昇任制度について

研究・教育業績に係る学内審査の結果に応じて、任期満了後にテニユアを付与します。

なお、テニユア付与の場合、上位職への昇任もあわせて審議される場合があります。

テニユア付与基準の概略:

- 1) 国内外で、当該分野における研究成果が特に優れていると認められること
- 2) 適正に計画された研究計画(研究ユニットとしての計画を含む)が達成されていること
- 3) 十分な競争的研究資金を獲得し、研究を遂行していること 等

(テニユア付与後は、国立大学法人金沢大学教員の任期に関する規程の適用を受ける教員となり、研究・教育業績に係る学内審査の結果に応じて、任期満了後に再任されます。)

※金沢大学では、ダイバーシティ研究教育環境の整備を推進しています。詳しくは下記の URL をご覧下さい。

<https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

※男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、新学術創成研究機構及びがん進展制御研究所では女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

※給与や任期等に関する規程の詳細は、下記の URL をご覧下さい。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

※大学院新学術創成研究科・融合科学共同専攻(助教は博士前期課程のみ)の専任教員として、教育に参画いただく可能性がありますので、ご留意願います。